

## 毎年恒例 佐竹食品株式会社より 障害者支援施設へ、すいかを寄贈していただきました

摂津市では 7 月 22 日（水）、佐竹食品株式会社様（吹田市朝日町）から、すいか 37 箱（1 箱 2 玉入の計 74 玉）の寄贈を受けました。

寄贈を受けたすいか 37 箱は、すべて市内の障害者支援施設に配られます。



同社は、本市に隣接する吹田市に本社を置き、大阪北部を中心にスーパーマーケットを展開。これまでも毎年、夏にはすいか、冬にはクリスマスケーキとみかんを寄贈しておられます。当日は、梅原一嘉代表取締役社長らが本市を訪れ、スイカ 37 箱と目録を嶋野市長に手渡しました。梅原社長によると、今年のスイカは鳥取県倉吉産で、身がシャキシャキとしていて大変美味しく、昨年よりもさらに出来が良いそうです。



寄贈を受けた嶋野市長は、先日丹波市と結んだ連携協定の内容にも触れ、「今後、丹波市の魅力ある特産品などについて、佐竹食品様のネットワークを通じた新たな販路開拓についても検討したい」と述べました。

また、寄贈を受け取った障害者施設「ハッピーワールド」の職員で、毎年この取り組みを楽しみにしているという大江さんは、「すごく甘いスイカで、毎年本当に楽しみにしています。去年はジュースにして皆で楽しみました」と笑顔で語られました。

さらに、一緒にスイカを受け取った利用者さんは、「夏バテしないように、スイカをたくさん食べます！」と話されました。



△ハッピーワールドの大江さん